

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号1772

息子の「大樹」は、3才2ヶ月。反抗期まっさかりで、少々(?)手をやいております。

「大樹」は、結婚8年目にしてやっとさずかった子供で、同居している夫の両親も大変喜んでくれました。妊娠中に男の子ということがわかってから、姑と二人であれこれ考えて決めたのが「大樹」です。「大ちゃん」という呼び方も、すごく気に入っています。



名字とあわせると「根を守る大きな樹」となり、大木となって地面をかためて守ってほしい。また逆に、大木を守れる様な生き方をしてもらいたいというふた通りの意味になっています。ともかく、大きな広い心の持ち主になってくれたらいいなと思っております。

最後に、この度は特別住民にして頂き、誠にありがとうございます。「大樹」がもう少しわかる年齢になりましたら、大樹町へ家族みんなで、寄らせて頂きます。これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(母)

北海道北見市の大樹さん

特別住民番号1776

私達の息子「大樹」は、牧野家の長男として、平成8年3月7日に3,300gで誕生しました。すくすくと元気に育ち、何もわからぬ新米パパとママに育てられながら、今春、幼稚園に入るまで成長しました。

今回縁あって大樹町の特別住民に登録され、更にこのような文章をかける事は、いい記念になるなと思います。



さて、名前の由来ですが、「牧野」という名字、牧場の「牧」、野原の「野」、これに似合う自然に関する名前を…と考えている最中に、おじいちゃんが、お酒のグラスを片手にひらめいてくれたのです。「大樹」はどうだい?と、私達は呼び方を「大樹」にしよう(大きな樹のように 大きく広い心を持った男の子に育つように)とゆう願ひを込めて。

また、2年程前に、弟を亡くしましたがその時も、一生懸命母親をなぐさめてくれたりして、自分も何もわからないうちに弟がいなくなって、ショックだったように…と今は思う私です。大樹が居てどんなになぐさめられた事か…

それに大樹が2才5カ月の時、43°Cの高熱を出して入院していたのですが、つきそのママに「ママも毛布どうぞ」とかけてくれたりして、本当に心がやさしい子になったなあとと思います。

今は3才7カ月になり、親に反抗する事や生意気する事を覚える一方お兄ちゃんとしての自覚も出てきて、弟(もうすぐ1才)の面倒を見て更に1月に産まれる予定の赤ちゃんをととても楽しみにしている様子。

大樹を先頭に毎日にぎやかな我家。このままずっと明るくやさしい大樹でいてほしいと願う私達です。(母)

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号1781

平成元年8月2日に生まれ、私達夫婦の第一子である愛息子の大樹。

性別は聞かずに、生まれるまで楽しみにしようと思っていたのに、妊娠7ヶ月の検診で、先生に「おちんちんがついているよ!!」と言われてしまい、男の子とわかりました。でも、おなかにいる時から、名前呼びかけてお話



してあげれたので、今となっては、産婦人科の先生にはとても感謝しています。その名前の由来なんですが、主人の名前が茂樹といいます。お父さんよりも、心もからだもずっと大きくなってほしいという願いをこめて、大樹と名づけました。その名のおり、生まれた時は、51.5センチ、3,610グラムと大きな赤ちゃんで、小学四年生となった今では、145センチ、42キロととても四年生には見られなく、小柄な中学生ぐらいにまちがえられるほどです。昨年、三年生になってから少年野球チーム入り、5時半からの朝練、毎週土・日びっしりの練習や試合に、二年生の弟、宏紀といっしょに頑張っている。将来の夢はやはりプロ野球選手だそうです。

勉強・スポーツ、どちらも一生懸命にやって、何よりも健康で、そして大樹という素敵な名前に負けないように、夢が実現できたらいいのになね！
ガンバレ!! 大樹!!(母)

神奈川県藤沢市の大樹さん

特別住民番号1792

長男(大樹)を、妊娠した時、私達夫婦は、夫の仕事の関係で札幌に住んでおりました。妊娠6カ月目に、胎児が男の子とわかり、夫婦で性別判断の本を何冊も買いあれこれ考えておりました。なかなかよい名前が、浮かばずにいる時に、夫の知人から「折角、北海道で子供を産んなら、北海道に因んだ名前を付けたら」とアドバイスを受け帰宅しました。私は、その時、実家の宮城県ではなく、札幌で出産する事に決めてましたので、夫の知人のアドバイスに対して「なるほど」と思い、早速、北海道の観光案内や地図を眺める事になりました。



その後、ある日、夫が「大成町の大成はどうだ」と言ってきましたが、「大成」という名前は、親戚に同じ名前の子供がいたのでやめました。そして、また今度は「大樹町の大樹はどうだ」と言ってきました。夫がいうには「生まれてくる子供は男なので、大きい樹のような人になってほしい」という意味と、北海道に因んだ名前でもあるから、これにしたいと言い出したのです。私は読み方は、どうするのかと尋ねたところ、夫は「ダイキ」「ヒロキ」とも読めるけど、大樹町の通り「タイキ」で、という事で、私も賛成し、長男ともども、この「大樹」という名前が大変気に入っております。

北海道釧路市の大樹さん

特別住民番号1795

ある夕方、にぶい陣痛を感じ半信半疑のまま病院に行き、あつと言う間に生まれてきた私の二番目の息子、その子が我家の「大樹」です。だいきといいます。まあ元気で明るく、わんぱく坊主です。“だいき”という名前がぴったりという感じです。



秋になった頃、妊娠に気づきました。と同時に、ものすごいつわりに襲われました。夜なのか昼なのかわからない程の具合の悪さの中で、唯一没頭することができたのが読書でした。本を読んでいる間だけは救われました。何冊も何冊も読んだ中で、のめり込んでいったのは“徳川家康”の伝記でした。もともと歴史が好きだったので、頭の中にすんなり入ってきました。その徳川家康の言葉の中に、とても心に響いたものがありました。「人間、大樹のごとく大地にしっかり根をすえて、大木からは細かな枝をたくさん伸ばし、あらゆる事に触れ、葉を茂らせ生き生きと……」という所がありました。家康のような考え方もいいなあ、生き方も未は良いと思い、是非男の子なら、そのまま“大樹”と名付けたいと思っていました。

晴れて五月のいい時期に産声をあげて、今日まで元気に育っている大樹ですが、この先どんな人生をおくるのか、母親の私にとってもとても楽しみなものになってます。なに事にも動じることなくしっかりと大地をふみしめ、まっすぐにスクスクと成長して欲しいものです。そして、いろいろな事にかかわりながら実にしていき、成功して欲しいものです。(母)

兵庫県洲本市の大樹さん

特別住民番号1808

私(大樹の父)が大の北海道好きのため、こどもの名前には北海道の地名から付けたいと思っていました。そして地図等でいろいろ調べて、男の子の名前では一番良いのではと思い大樹と名付けました。そのため、大樹町とたまたま同じというものでなく、町名を全くそのまま付けさせていただきました。



なお、もし女の子の時は美幌とかいてミホロとなる予定でした。(父)

静岡県清水市の大樹さん

特別住民番号1819

前略 北海道も大雨で大変でしょうが頑張ってください。

先日札幌に住んでいる義妹より「大樹」の名を付く人を捜しているという記事を応募しようか迷ってましたが、当方次男が「大樹」なので申込みます。



当方の大樹は「ひろき」と読みます。今年の4月から大学生となり静岡県清水市に在住東海大学水産学部に通学しています。

「ひろき」の名前は旧国鉄広尾線の駅名から名付けました。(漢字)

長男は九州宮崎県肥薩線の「真幸まさき」三男は北陸本線「能生のう(よみかたはよしお)」と全て駅名からの命名です。

「ひろき」が生まれたのは日曜日早朝3,700g余の大きな子でしたので、男の子だったので大樹に、もし女の子でしたら当時日本一の赤字路線美幸線から「みゆき」にしようと思っていました。

「ひろき」の小学一年の頃、広尾線廃止の話から「みゆき」にしようと思っていました。

「ひろき」の小学一年の頃、広尾線廃止の話があり家族5人で夏休みに駅まで行った事もありました。

2~3年前に北海道旅行に「ひろき」が行った時、時間がなくて旧駅前の大きな木をチラッと見たそうですが10年の事は余り思い出がなかったとの事でした。

東京にも(今は静岡)大樹が居る事を貴町にも知らせたくFAXしました。(父)

宮城県岩沼市の大樹さん

特別住民番号1823

我が家の長男大樹(だいき)を募集させていただきます。

大樹は、先月7月23日に生まれたばかりです。

男の子らしく力強い名前を…と思い、大樹と名づけ、元気に育ってくれることを願っております。

先日、会社の上司から、とっておきのプレゼントということでこの募集について教えていただき、とてもびっくり致しました。

大樹町の特別住民になれるなんて、大樹誕生の良い記念になり、私たちも喜んでおります。(父)



東京都江戸川区の大樹さん

特別住民番号1839

我が家の大樹は、平成8年6月25日、双子の兄として生まれました。双子のもう一人は、妹の彩佳。二人は、出産予定日より2ヶ月半も早く生まれてしまった。だから、男の子の方の名前の中に“大”という字を入れたのだ。小さく生まれても、大きく育つ様にと願いを込めて。



更に当初は“大樹”ではなく、“大輝”という字の方を考えていたのだが、姓名判断で見てもらったところ、桶屋を代々家業としてきたこと、祖父の繁吉という名前の“繁”という字にも通ずるところがあること、また大地にどっしりと根をはり、大きく育つ様にという事から“輝”ではなく“樹”という字の方が良いのではというアドバイスを頂き、大樹と命名したのである。

また、呼び方も愛称で呼んだ時のひびきの良さと、元澤という名字に、濁音が入っているので、名前の方はあえて濁音をはずし、“タイキ”と読ませている。

最近の人気の名前ランキングでは、毎年上位にランキングされている名前なので、公園などに行っても一人や二人同じ名前の子がいたりするが、この様に大樹町の特別住民になった事もあり、私達はこの名前がかなり気に入っているのである。(母)

北海道苫小牧市の大樹さん

特別住民番号1840

平成5年10月28日。3,002g

「男の子だ」

「産声が聞こえない」

「仮死産」

生きるか、死ぬかの瀬戸際でした。

生まれてからのこの5年間、色々な事を思い出します。初めての寝返りの時、大きな声を出していた事、ハイハイが出来る様になった事。つかまり立ちをする様になった時、ぬいぐるみが持っていた、造花を食べてしまったり、お菓子を食べ喉に詰まらせ、救急車で運ばれたり。

その子が今は、年長さんにもなり、来春には一年生になります。

「大樹」

と名付けたのは、今亡き、この子の父親です。

「大きく育つ様にと」

父親は、今年2月肺ガンで亡くなりました。27歳という若さで。

父親のいない生活。子供にとっては、寂しいけれど、大樹は父親からの愛情を人一倍受けたと私は思います。

父親もこの広い空のどこかで大樹の成長を見守ってくれていると思います。

自分の名前に誇りをもてる様な人間になって下さい。

